

給油中はその場を離れちゃダメ！

～ 灯油を流出させないように注意してください ～

最近、町内で灯油の流出事故が多発しています！

原因のほとんどが、家庭用ホームタンクからポリタンクなどへの給油中にその場を離れてしまった、うっかり目を離してしまった、給油中であることを忘れてしまった、といった“ちょっとした不注意”によるもので、一般家庭で多く発生しています。

ほんの少しの量の油でも、流出させてしまうと、周辺の土壌の汚染や、側溝・河川・諏訪湖の水質の汚濁など、環境に多くの影響を与えてしまいます。また、農業や漁業にも深刻な問題を引き起こしてしまいます。何よりも流出した油は火災を発生させる危険性があります！

給油をする場合は、以下のことを必ず守り、油の流出事故を防ぎましょう。



1. 給油作業中は、絶対にその場を離れないでください。
2. 給油作業終了後は、必ずバルブを閉じたか確認しましょう。
3. 万が一に備え、タンクには防油堤を設置しましょう。
4. 定期的にタンクのバルブや配管、防油堤の排水コックなどを点検しましょう。



- 給油が終わるまで離れない！バルブや配管をチェック。
- 防油堤を設置しましょう。排水コックは必ず閉めて！

灯油を流出させてしまったら、
また、側溝や河川や諏訪湖に油が流れているのを見つけたら、
すぐに消防署と役場へ通報してください。